

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 4年 7月 日

事業所名： 放課後クラブぴのきおにいさま

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	5	2		届け出通り利用することができる。	28					・各部屋に分かれて一人一人のスペースが確保しやすいようにはその都度対応を行っている。今後も対応を検討していく。
	2 職員の適切な配置	5	1	1	各部屋に職員を配置し、それぞれの児童に対しての対応を行っている。日によって送迎が建て込み足りずらい時がある。	21			7		・利用の児童に合わせて職員を配置するよう対応をしている。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	2	5		視覚資料やスケジュールを活用し支援を行っている。施設が古い民家のため完全なバリアフリー化は難しが段差や仕切りが多い分児童の動きのスピードを落とすことができるためいい面もある。	24	1		3		・視覚的な資料に関しては個々に必要な児童に対しては検討し改良を重ねている。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	4	3		古さはあるが、日々の清掃によって清潔が保たれている。コロナへの対策に関しては使用した玩具、施設内の消毒、喚起の徹底を行ないながら今後も対応継続を行っている。	27			1		・アルコール消毒の徹底。使用前後の消毒など実施し感染対策を行っている。玩具の消毒や清掃、布類について洗濯天日干しなど清潔な利用具の対応を心掛けている。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	5	2		月、週、支援MTGそれぞれ実施し、問題解決できるように目標の設定を行い実施、評価を行っている。						
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	7			保護者の意見、気持ちを汲み取ることができるように連絡帳の意見を把握したり、評価やアンケートを参考にしている。						
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	6		1	公開場所等を知らないこともあったため、再度周知を行った。						
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	6	1		日ごろから、支援に対しての意見交換を密に行い、必要な支援について話し合いを行うことを意識している。	27	1				
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	7			支援計画に基づく内容を達成するために日常の支援を行い、実践している。	27			1		・アセスメントを行い、保護者・利用児童の思いを盛り込むことのできる計画の立案が出来るように心掛けている。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	7				26			2		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	6	1		職員間で連携を取りながら実施できるように努めている。	22	2		3	<ul style="list-style-type: none"> 日々の活動に変化を持たせいろいろなことに挑戦できるようにプログラムしている。 	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	7			日々の様子を夕礼・朝礼で話し合ったり、活動内容の検討を行っている。	10	1	2	15	<ul style="list-style-type: none"> 現時点でのコミュニケーションの機会の検討は困難。今後も引き続き検討を行っている。 	
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	7			学校の下校時刻によっては活動の時間が短くなることはあるが、日々の活動に工夫をしながら実施している。	22	2		3	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍であることもあるので活動に制限があり、仕方がないと思います。ほかの利用のお子さんと集まってする活動などはうまくかかわっていないのでやることに偏っていないか少し心配です。 コロナの影響により施設内での説明を行うことはできなかった。支援に対しての内容を細かく伝えることが出来るように今後も努める。 	
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	7			児童に合わせて集団か個別かアプローチの内容を検討し、個々の準備を行っている。目標課題をこなすことができるように支援できている。						
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	7			朝礼によってその日のスケジュールの確認、連絡事項の把握、個々の業務内容の報告をおこなっている。児童の把握をし、配慮すべき点などを再確認している。。						
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	7			その日の様子や気になったこと改善すべきことなどを細かく報告し、次の支援に生かすことができている。						
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	6	1		ノートやファイルの記載を行うことによってその日の様子を前後と比べることができている。						
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	7			イベントや外出での経験が制限されることによって外部での活動経験での計画は達成されにくいことがあった。都度修正、改善を行いながら目標設定していくことがひつようである。						
関係機関	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	7			児童発達管理責任者が参加しているが、必要によっては密に接する職員に同席してもらうこともある。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない
との連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	4	3		医療的ケアが必要な児童は利用していない状況。 重症心身障害のある児童との病院等の対応に関しては保護者を介して行っている。内服状況や受診状況に関しては情報を把握できるように努めている。	/	/	/	/	
関係機関との連携(続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	3	4			/	/	/	/	
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	6		1	児童発達支援からの移行児童に関しては移行前に支援会議を行ってもらい、継続的な支援を実施することができるよう情報提供をしてもらっている。 支援会議に関して積極的に参加したり、参観日に参加することによって日々の様	/	/	/	/	
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	7			他の福祉サービスを利用している児童は多くは見られていないため、直接の情報のやり取りを行うことは少ないが、モニタリング会議等で情報の共有を行っている。	/	/	/	/	
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	4	3		支援会議の参加によって情報交換を行っている。 研修会等はコロナによって制限されていることも多く、参加しづらい状況にあった。	/	/	/	/	
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供		3	4	コロナ禍であることもあり、交流の機会が失われている。	10	1	2	15	・現時点でのコミュニケーションの機会の検討は困難。今後も引き続き検討を行っていく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		4	3	外部との開催行事が難しい状況にあった	/	/	/	/	
保護者への説明責任	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	7			契約時に説明を実施している。	28				・コロナの影響により施設内での説明を行うことはできなかった。支援に対しての内容を細かく伝えることが出来るように今後も努める。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	6	1		計画の立案時には説明を行うが、コロナ禍であることによって密な話し合いを行うことは難しい状況であった。	27	1			

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	3	4		22	1	2	3		<ul style="list-style-type: none"> 日々の報告を行うことで情報の共有ができるように努めているが、ペアレントトレーニングを行うことまでは至っていない。 	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	6	1	日々の連絡帳によって保護者と意見交換、送迎時の報告によって共通理解を図るように努めている。	28					<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの時間を大切にし、情報共有を行うことが出来るように努めている。 	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	6	1	会話の内容や表情等により変化に気づくことができるように気をくばっている。相談がしやすい関係性づくりができるように心掛けている。	21	3	1	3		<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施に努めている。面談をおこなうことが難しく、電話でお話を聞かせてもらうことはあった。 	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		2	5	コロナ禍であるため、開催の制限が多くなることから実施することができなかった。	6	2	7	13		<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍であっても開催できる方法を検討している状況。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	7				24			4		<ul style="list-style-type: none"> その都度職員と話し合いを行い、改善に努めている。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	7				27			1		<ul style="list-style-type: none"> ノートでの連絡や送迎時のコミュニケーションを行い、情報の共有が出来るように今後も努めていく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報について子どもや保護者への発信	7			通信、ホームページ、インスタグラムを通じて行事等を伝えている。	28					<ul style="list-style-type: none"> 毎月2回以上ホームページの更新や毎月の通信の裏を活用して活動の様子を掲示している。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	7				27			1		<ul style="list-style-type: none"> 個人情報書類に関しては鍵のある場所へ保管を行っている。
非常時等	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	5	2	コロナの状況に対しては感染状況によって都度制限の検討がされており、変更の際にはお知らせ配布を行いながら対策している。	25	1		2		<ul style="list-style-type: none"> 保護者への周知は行うことが出来ていない。 周知できる方法を検討していく。 	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
母の 対応	2	7			定期的に実施することによって安心して非難することができたり非常時の対策に関心をもつことができるように努めている。	26	2				・年2回以上の訓練の実施は行っているが、引き渡し訓練等は実施に至っていないため今後の課題として検討を行う。
非常時等 の対応 (続き)	3	7			虐待防止委員会による研修や委員会の実施を年県計画を作成しおこなっている。	26	2				・楽しみとなる場所づくりを行っていく。
	4	7			装具等の使用により身体拘束同意を得て様子を見ている。委員会内で状況の確認や解除に対しての検討を行っている。	28				・とても良くしていただいていたことも感謝の気持ちでいっぱいです。 ・同じ内容の電話が何度かかかってきたことがあるので職員さん同士共有していただくとより満足です	・情報共有を行いながら満足していただける支援を提供できるように努力していきます。
	5	7			医師指示を保護者を通して確認を行い、負荷試験や血液検査の報告を受けながら提供を行っている						
	6	7			MTGでヒヤリハットについての具体的な対策支援について話あっている。						